

地域産業クラスター計画・地場産業成長プランの概要

2026年 8 月28日

対面出席

B.地域産業クラスター計画

●長野県	4
●静岡県・浜松市	6
●三重県	8
●福岡県	10

C.地場産業成長プラン

●秋田県男鹿市	16
---------	----

オンライン出席

B.地域産業クラスター計画

●山形県	20
●新潟県・新潟市	22
●富山県	24
●大阪府	28
●大阪府・大阪市	30
●大阪府・大阪市・堺市	32
●岡山県	34
●広島県	38
●山口県	40
●香川県	42
●高知県	44
●佐賀県	46
●長崎県	48
●大分県	50
●鹿児島県	52

C.地場産業成長プラン

●新潟県長岡市	56
●宮崎県	58

B.地域産業クラスター計画一覧

地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第6回）
8月発表分

対面出席

B計画リスト 4自治体 5件

自治体名	産業領域
長野県	航空機システムや宇宙機器コンポーネントを核とする航空・宇宙機器産業領域
静岡県・浜松市	医療健康分野（医薬品製造業、医療用機械器具・医療用品製造業）
三重県	半導体関連産業 電子部品・デバイス・電子回路製造業、化学工業、生産用機械器具製造業、情報サービス業など関連する業種
福岡県	半導体後工程産業領域 先進モビリティを核とする自動車・水素産業領域

長野県 航空・宇宙分野における地域産業クラスター計画の概要

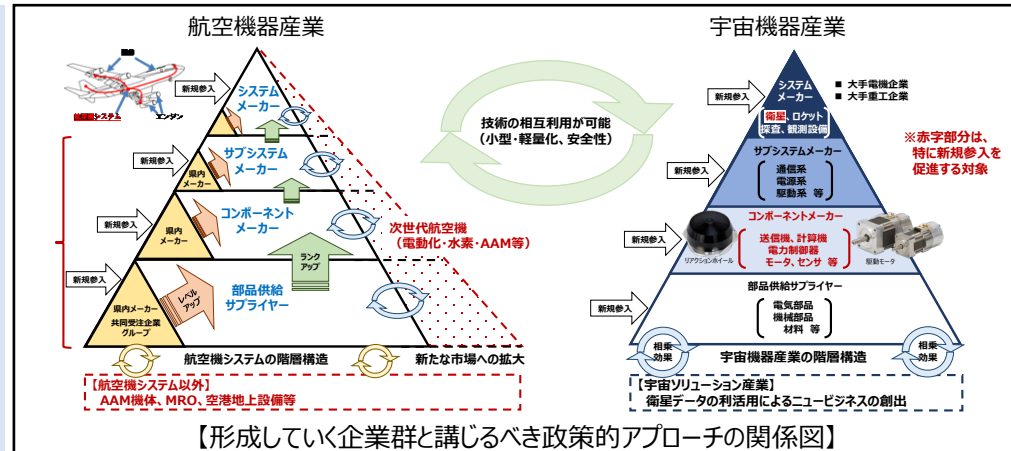
1. 産業領域

航空機システムや宇宙機器コンポーネントを核とする
航空・宇宙機器産業領域

2. 対象エリア

「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」
構成市町村のうち計画推進の核となる企業が
所在する市町村※

※ 長野市、岡谷市、飯田市、諏訪市、伊那市、駒ヶ根市、茅野市、
下諏訪町、富士見町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、豊丘村
(県内14市町村)



3. 目指す姿 (目標)

信州エアロスペース・バレーの形成

【航空】アジアの航空機システム拠点の形成

【宇宙】世界的に拡大・進化する宇宙産業
エコシステムの一角を担う企業群の形成
<目標> 5年後の2031年3月末までに

- 官民設備投資額: 174.3億円
(2030年度: 24億円)
 - 航空機器関連製造品出荷額等:
2025年度比1.5倍
 - 付加価値増加額: +124.0億円
 - 産業人材育成数: 270人
- 加えて、2026年3月に策定した「長野県
航空・宇宙機器産業振興戦略」に基づき、
県全域において、2036年3月末までに以
下の目標達成を目指す。
- ① 航空機システムメーカー立地数: 3社
 - ② 宇宙機器産業参入企業数: 100社

4. 勝ち筋

「その部品がなければ製品が機能しない」**ミッションクリティカルな領域をターゲット**に、県内企業の新規参入・高度化及び企業誘致を促進し、工場や研究開発拠点の設置、試験・評価設備の導入等の設備投資を呼び込み、航空・宇宙機器産業クラスターを形成する。

- ① 欧米に比べ日本企業の参入が少ない航空機システム分野に着目し、県内企業の新規参入促進と国内外システムメーカーの拠点誘致等により、システムメーカーの立地を実現する。
- ② Tier1企業である多摩川精機(株)が強みを持つ領域において、**部品供給サプライヤーの高付加価値化と、上の階層への段階的な成長**を促進し、航空機器産業基盤の強化を実現する。
- ③ 宇宙関係研究機関の集積や県内企業の強みである超精密加工、小型・軽量化技術を活用し、低軌道衛星コンステレーションの姿勢制御や通信機器など、**宇宙機器コンポーネント分野への参入・事業展開**を実現する。

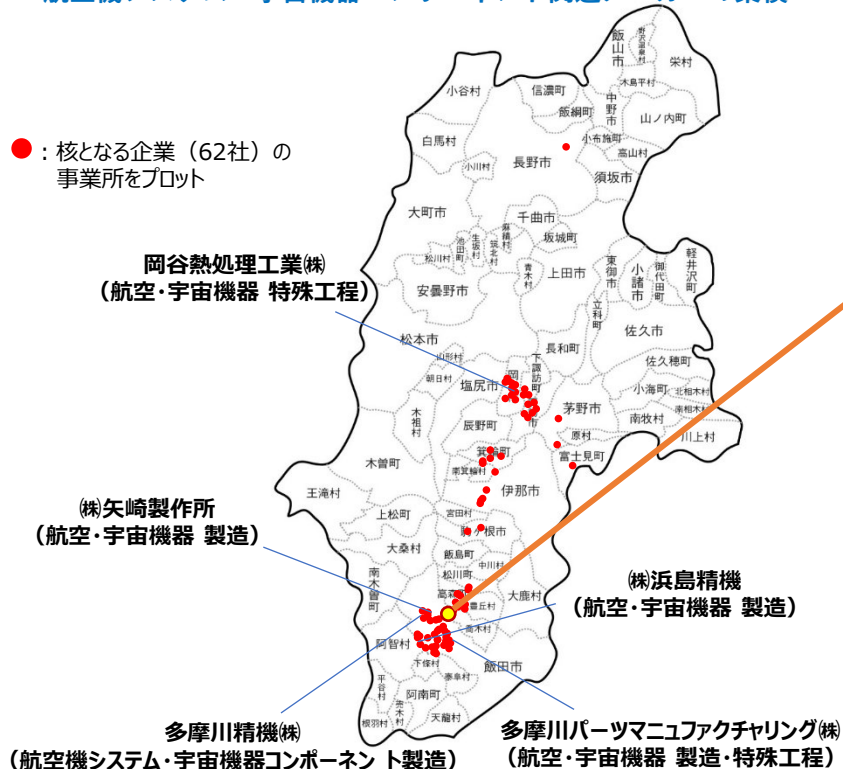
5. 政策手段

- 航空・宇宙規格に対応した試験・評価の体制整備
 - リニア中央新幹線等を活かした中部圏との連携強化
 - JISQ9100、Nadcapの認証取得等の体制整備を支援
 - 誘致施策拡充やトップセールスによる航空機システムメーカーの誘致
 - 信州大学や公立諏訪東京理科大学と連携した航空・宇宙関係人材の育成
 - 中学校・高校と連携した信州航空宇宙ジュニアインターンの実施
 - 宇宙スタートアップの創出や県内企業とのマッチング
 - 宇宙機器フライト実証機会の創出支援
- 等 4

長野県 航空・宇宙分野における地域産業クラスター計画の概要

信州エアロスペース・バレーの形成

～航空機システム・宇宙機器コンポーネント関連メーカーの集積～



航空・宇宙産業集積地
中部地域との連携

アジアNo.1航空宇宙産業
クラスター形成特区

航空・宇宙産業の集積を目指す
産学官連携組織

109者が参画
(R8.8月現在)



核となる企業

多摩川精機(株)、多摩川パーツマニファクチャリング(株)、
(株)浜島精機、(株)矢崎製作所、岡谷熱処理工業(株)
ほか、アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区関連企業

計62社

核となる拠点（航空・宇宙機器産業振興拠点）

航空・宇宙機器産業の
人材育成から研究開発、実証試験までを一貫支援

S-BIRD エス・バード



航空・宇宙機器産業に不可欠な国内唯一の環境試験設備を整備



＜着氷試験装置＞



＜防爆性試験評価装置＞



＜燃焼・耐火性試験装置＞

静岡県・浜松市 医療健康分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

医療健康分野

(医薬品製造業・医療用機械器具・医療用品製造業)

2. 対象エリア

静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士宮市、富士市、藤枝市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、伊豆市、函南町、清水町、長泉町、小山町



3. 目指す姿（目標）

(1) 現状の整理

- ・ 静岡がんセンターを中心とした医療城下町の形成により、医薬品・医療機器合計生産金額は **8年連続1兆円超**。全国トップクラスを達成
- ・ 直近の内閣府総合特区評価において、ライフノベーション分野で **2年連続全国1位** を獲得
- ・ **世界に先駆け超高齢社会に対応** すべく、**医療田園都市構想** を推進
- ・ **浜松医科大学を中心とする医工連携拠点**
- ・ 技術革新への対応、人材や用地不足等が課題

(2) 目指すべき目標（KGI）

- ・ 官民設備投資額： **800億円**
- ・ 付加価値増加額： 500億円
- ・ 産業人材育成数： 215人
- ・ 医薬品・医療機器合計生産金額1.2兆円

4. 勝ち筋

(1) 基本戦略

- ・ 20年超にわたる産学官金連携の取組に加え、**スタートアップや地域企業の医療健康産業への参入を促進**
- ・ 静岡がんセンター等の臨床現場ニーズを起点に、**超高齢社会を見据えた高付加価値製品を全国に先駆けて開発（「3歩の住まい」の取組ほか）**
- ・ **ファルマバレーセンター** による技術開発から製品化、販路開拓までの **一貫した伴走支援** により、本県発のインパクトある製品開発を推進
- ・ 首都圏や関西圏双方への良好なアクセスと全国トップクラスの補助制度を活かした企業誘致

(2) 投資の具体像

官：県東部を中心とした産業用地整備
民：県内企業の拡張、県外企業誘致に伴う新規工場の立地

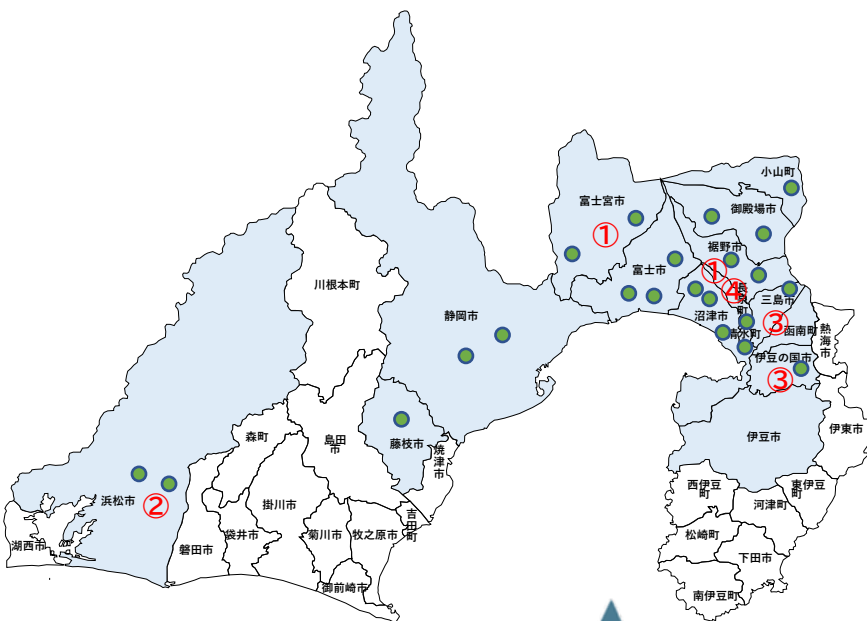
5. 政策手段

(1) 投資促進に向けた課題

- ・ スタートアップ等の先端技術と地域企業のマッチング機会の拡充が必要
- ・ 県外企業の大規模投資を受け入れる産業用地の確保が必要
- ・ 医療関連産業で活躍する若手人材の確保が必要

(2) 講じるべき政策パッケージ

- ・ 市場にインパクトを与える製品開発に向けたファルマバレーセンターによる伴走支援
- ・ 高度な技術を持つ県外企業やスタートアップとのマッチング
- ・ 総合特区を活用した山梨県との広域サプライチェーン構築や医療機器等の共同開発支援
- ・ 利子補給やファンドサポート等の資金調達支援
- ・ 市町と連携した産業用地確保と企業誘致活動
- ・ 大学や高専等と連携した若年層人材育成



核となる事業者

- ①テルモ株式会社
- ②興和株式会社
- ③株式会社タウンズ
- ④東海部品工業株式会社

計4社

●県の支援によって新規に医療健康産業に進出した企業

【医薬品等製造業者】株式会社タウンズ



SARSコロナウイルス抗原キット
インフルエンザウイルスキット

【医療機器製造業者】東海部品工業株式会社



大腿骨髄内釘システム

三重県 半導体関連産業分野における地域産業クラスター計画の概要

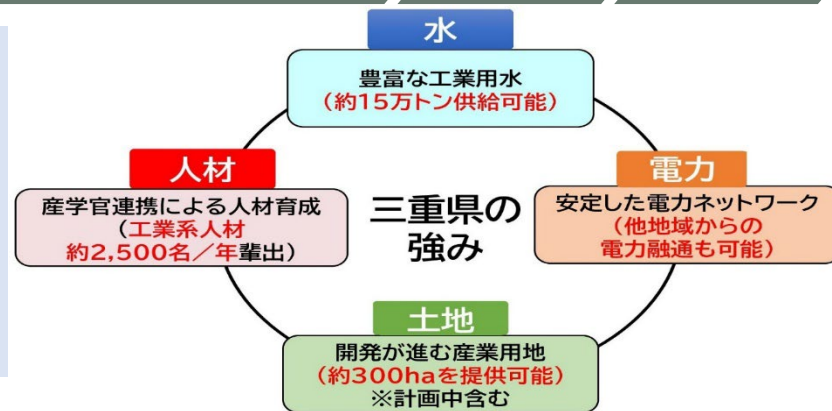
1. 産業領域

半導体関連産業

電子部品・デバイス・電子回路製造業、化学工業、生産用機械器具製造業、情報サービス業など関連する業種

2. 対象エリア

四日市市や桑名市を中心とする「北部地域」、津市や伊賀市を中心とする「中部地域」、伊勢市を中心とする「南部地域」



3. 目指す姿（目標）

(1)現状

- ・豊富な工業用水、安定した電力ネットワーク、産業用地、人材基盤などを背景に、大手半導体デバイス、化学メーカーを中心に、**100社を超える企業が立地**
- ・ユーザー企業が数多く立地する**中京圏や関西圏に近接**
- ・電子部品・デバイス・電子回路等の製造品出荷額が**21年連続1位**

(2)目指すべき目標（2031年）

- ・電子部品・デバイス・電子回路製造業及び化学工業の
製造品出荷額 3兆6,533億円
付加価値創出額 9,900億円
- ・官民設備投資額(累計) **5,110億円**
- ・産業人材育成数(累計) 5,000人

4. 勝ち筋

大手デバイスメーカーの生産能力向上を核とする関連分野の産業集積

- 【優れた立地環境を活かしたさらなる集積】
 - ・後工程パッケージング分野における研究機関や工場の集積
 - ・原材料、部素材、保守・メンテナンス分野における産業集積
 - ・域内取引拡大などのサプライチェーン強靱化に向けた支援
 - ・データセンターや関連分野の産業集積

【人材の確保】

- ・産学官で構成する「みえ半導体ネットワーク」を活用した**人材育成**
- ・三重大学や県内高等専門学校等との連携

【さらなる産業基盤の整備】

- ・産業用地、工業用水、安定した電力ネットワークに加え、**洋上風力発電**等の再生可能エネルギーの発電能力増強

5. 政策手段

(1)投資促進に向けた課題

- ・県内企業の新規参入や販路拡大
- ・高度人材の育成、企業の人材確保
- ・用地、インフラ整備など企業の操業環境の確保

(2)講じるべき政策パッケージ

【優れた立地環境を活かしたさらなる集積】

- ・半導体関連企業の設備投資への支援
- ・商談会やビジネスマッチングなどサプライチェーン強靱化に向けた支援
- ・半導体のユーザー産業であるデータセンター及び関連産業の立地促進

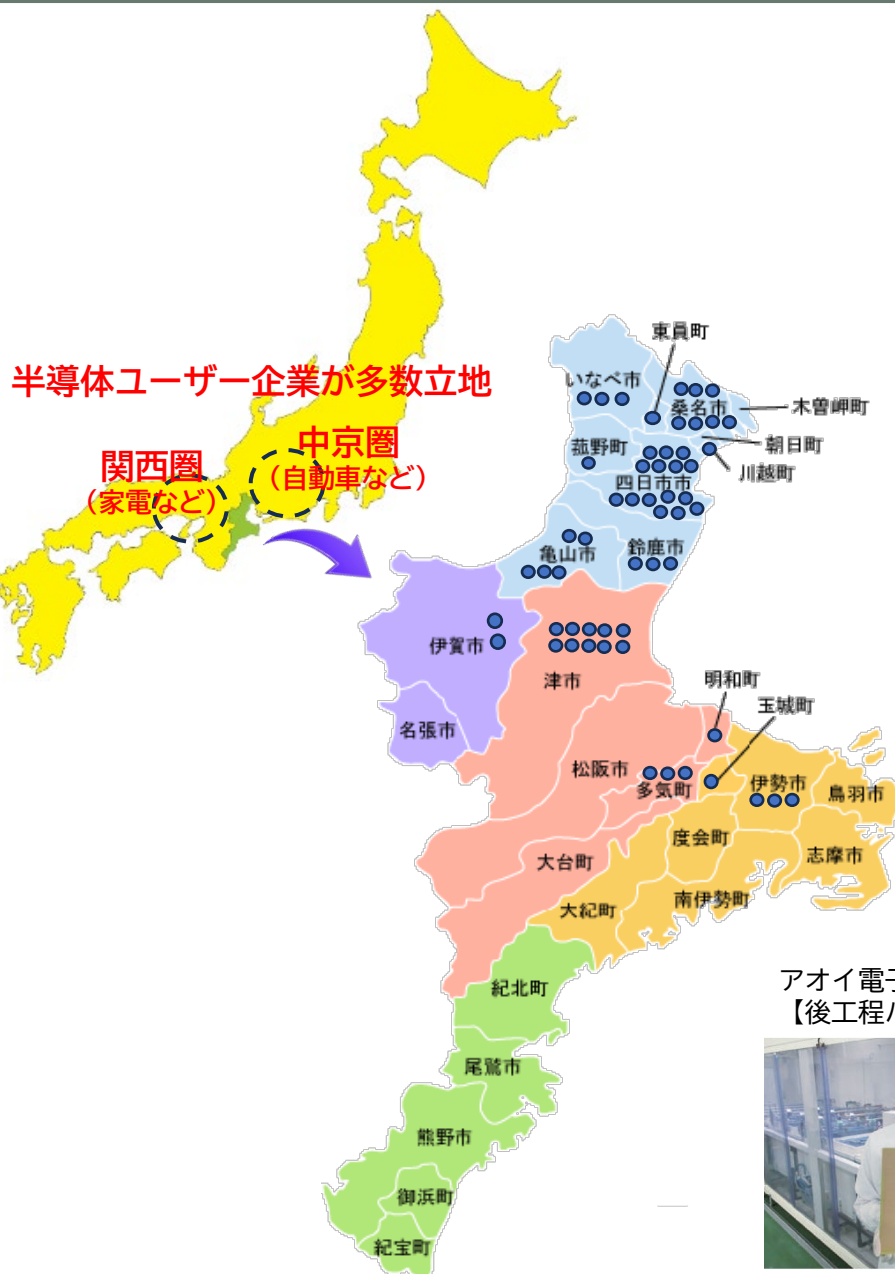
【人材の確保】

- ・様々な分野における高度専門人材の育成
- ・企業の人材確保に関する支援

【さらなる産業基盤の整備】

- ・用地、道路、工業用水、電力確保など操業に必要なとなるインフラの整備
- ・洋上風力発電等の再生可能エネルギーの発電能力拡大

三重県 半導体関連産業分野における地域産業クラスター計画の概要



核となる事業者

100社を超える関連企業が立地

キオクシア 株式会社
サンディスク 合同会社
ユニテッド・セミコンダクター・ジャパン 株式会社
J S R 株式会社
ジャパンマテリアル 株式会社
アオイ電子 株式会社
村田機械 株式会社

ほか 計56社

キオクシア、サンディスク
【NANDフラッシュメモリの製造】



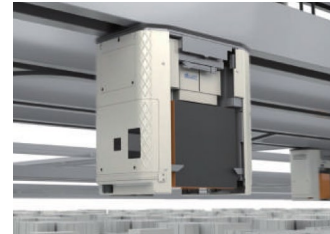
J S R
【フォトレジスト等の材料】



アオイ電子
【後工程パッケージング】



村田機械
【搬送装置、クリーンF A】



ジャパンマテリアル
【特殊ガス供給、
製造装置メンテナンス】



福岡県 半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

半導体後工程産業領域

2. 対象エリア

九大学研都市地域である福岡市及び糸島市、ASEが進出を検討する北九州市、半導体製造企業が立地・集積する筑後市、うきは市、広川町

※上記を中心に県内全域にクラスターによる経済活動の波及を図っていく。

3. 目指す姿（目標）

本県が誇る半導体後工程の先進技術の研究開発を支援する国内唯一の公的機関「福岡超集積半導体ソリューションセンター」を核に、新生シリコンアイランド九州を牽引する半導体後工程のグローバル拠点構築を目指す。

目指すべき目標（KGI）＜R8年度～R17年度＞

- ・官民設備投資額：累計4,960億円（目標年度は496億円）
- ・付加価値増加額：1,200億円（目標年度は120億円）
- ・産業人材育成数：累計80,000人（目標年度は8,000人）

4. 勝ち筋

- ・微細化の限界を打破する最先端後工程技術の開発支援体制を強化し、県内企業の新規参入と後工程関連の新たな産業集積を図る
- ・光電融合、パワー半導体の高密度パッケージといった次世代技術の実現に向けた産学官連携による共同開発と社会実証
- ・アジアの半導体メーカーとネットワークを構築し、県内企業のグローバルな取引を促進
- ・高度半導体技術人材の育成・輩出



5. 政策手段

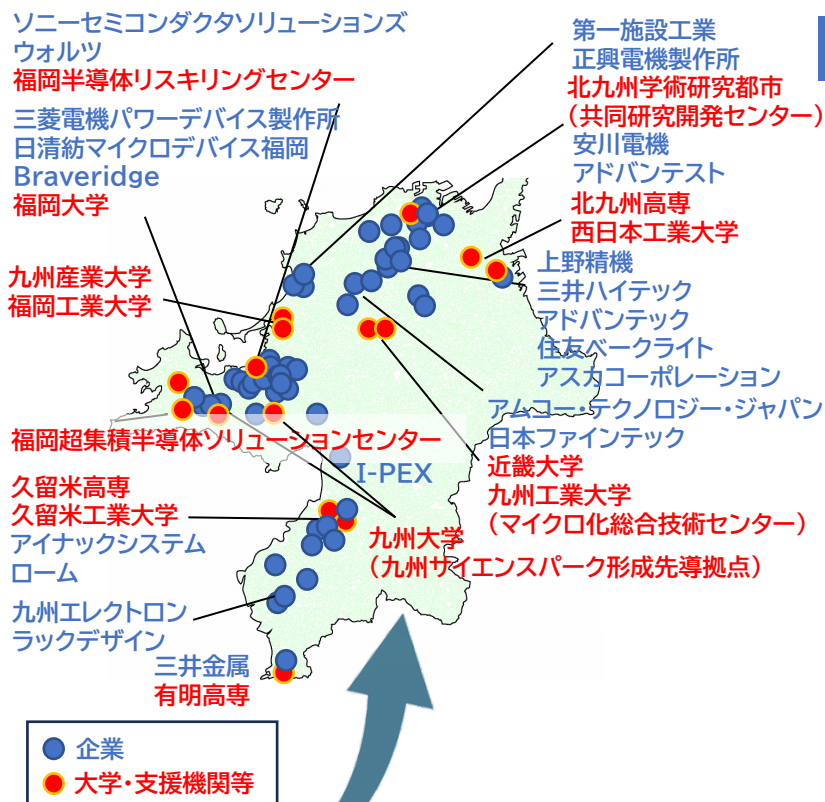
（1）課題

- ・後工程サプライチェーンへの県内中小企業参入強化
- ・急速な技術進化に対応可能な支援体制の整備
- ・慢性的に不足する半導体人材の充実
- ・後工程サプライチェーン強化に貢献する大手企業の誘致

（2）政策パッケージ

- ・県内企業の技術開発支援の強化や、大手企業とのマッチング機会の拡大
- ・産学官連携による先進的な共同研究開発推進や、公的支援機関の機能強化・充実
- ・半導体技術人材育成システムの強化
- ・交付金や特区の優遇措置による支援

福岡県「半導体産業分野における地域産業クラスター計画」における地域内の集積状況



核となる事業者

●中核となるグローバル企業

三菱電機株式会社、
株式会社アムコー・テクノロジー・
ジャパン

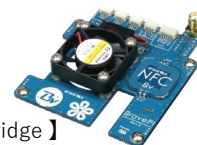
ほか12社



【三菱電機パワーデバイス製作所】

●ユーザー企業

株式会社正興電機製作所、
株式会社Braveridge
ほか13社



【Braveridge】
(IoTデバイス)

●装置製造企業

上野精機株式会社、
日本ファインテック株式会社
ほか16社



【上野精機】
(半導体検査装置)

●材料、部材製造企業

I-PEX株式会社、
アスカコーポレーション株式会社

ほか16社



【アスカコーポレーション】 計61社
(金属表面処理)

福岡超集積半導体ソリューションセンター



▲センター外観

- 半導体の微細化が限界を迎えつつある中、三次元実装やチップレット集積等の設計・試作から評価・解析及び実証までをワンストップで支援する国内唯一の公的機関
- これまでに約270社、5,000件以上の研究開発を支援
- 半導体の材料分野において日本を代表する研究者である知京 豊裕(ちきょうとよひろ)氏をセンター長として招聘

福岡県 先進モビリティ分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

先進モビリティを核とする自動車・水素産業領域

2. 対象エリア

カーメーカーが立地しサプライヤーも集積する久留米市、宮若市、苅田町、水素エネルギーの利活用が進む福岡市、リサイクル企業が集積する北九州市

※上記核となる区域のほか、先進モビリティの「開発・生産」「普及」「循環」の拠点の形成に応じ、県全域でクラスター化を目指す。

3. 目指す姿（目標）

自動車、IT、半導体などの産業集積を活かし、本県で開発・生産された先進的なモビリティやサービスが、脱炭素等の社会課題を世界に先んじて解決する「先進モビリティ拠点」の構築を目指す。

目指すべき目標（KGI）＜R8年度～R17年度＞

- ・官民設備投資額：累計1,040億円（R10年度は320億円）
- ・付加価値増加額：500億円（目標年度は50億円）
- ・産業人材育成数：累計5,000人（目標年度は500人）

4. 勝ち筋

- ・日産の生産移管を契機に、生産拡大や電動化・CASEに対応した強靱なサプライチェーンの実現
- ・経済安全保障に資する「GBNet福岡」の取組発展による、使用済みEVバッテリーの資源循環の確立
- ・脱炭素化に向けた大規模水素ステーション整備と水素商用モビリティ導入による「水素大動脈構想」の西の拠点の実現
- ・運転手不足や交通空白の解消に向け、バス・タクシー事業者と連携した自動運転の社会実装



5. 政策手段

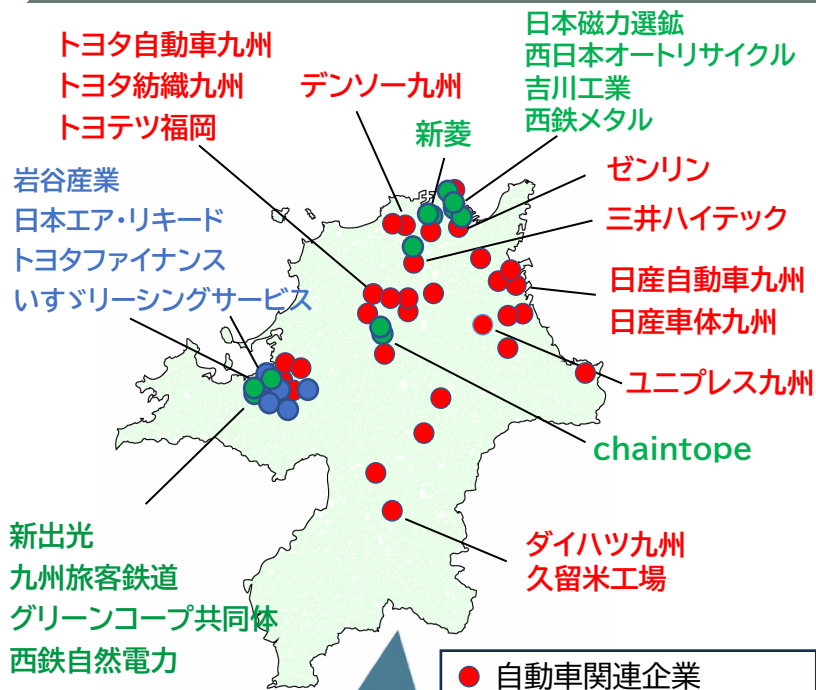
（１）課題

- ・現地調達率の向上
- ・電動化や自動運転などCASEへの対応
- ・使用済みEVバッテリーの海外流出
- ・FC商用車普及に向けたインフラ整備
- ・開発・生産を担う技術者や製造スタッフの育成・確保
- ・運転手不足による公共交通の減少

（２）政策パッケージ

- ・設備投資、技術開発の支援や生産性向上・DX支援の強化
- ・CASE分野への新規参入・取引拡大等の伴走支援の強化
- ・中古EVリース事業のさらなる拡大
- ・大規模水素ステーション・水素商用モビリティに対する支援の強化
- ・高度専門人材の育成や外国人などの人材確保
- ・公道やBRTでの自動運転導入

福岡県「先進モビリティを核とした自動車・水素産業分野における地域産業クラスター計画」における地域内の集積状況



核となる事業者

- 自動車関連企業
日産自動車九州株式会社、トヨタ自動車九州株式会社 ほか 41社
- 資源循環関連企業
日本磁力選鉱株式会社、株式会社新菱 ほか 10社
- 水素関連企業
岩谷産業株式会社、日本エア・リキード ほか 2社

計59社

【日産自動車九州株式会社】



【トヨタ自動車九州株式会社】



【サステナEVリース事業】



【FC大型トラック】



C. 地場産業成長プラン一覧

地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第6回）
8月発表分

対面出席

C計画リスト	1自治体 1件
自治体名	支援する分野
秋田県男鹿市	日本酒、クラフトサケ

秋田県男鹿市 酒づくりを起点とした男鹿の地場産業成長プランの概要

1. 支援する分野

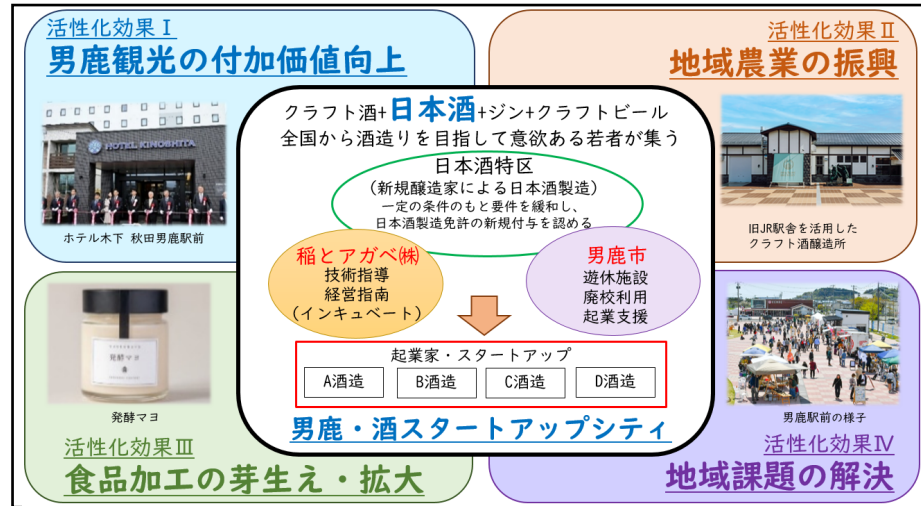
日本酒、クラフトサケ※

(※日本酒の原料である米と米麹をフルーツやハーブと一緒に発酵させた新しいジャンルのお酒)

2. 支援する地域及び核となる事業者

秋田県男鹿市（船川地区）

「稲とアガベ株式会社」及びその関連会社



3. 目指す姿（目標）

- 人口減少が進む本市において、市内に醸造所を開設した「稲とアガベ(株)」は、クラフトサケを全国的に定着させるとともに、関連事業を次々と立ち上げ、市の活性化を牽引している。
- 本市の地方創生を実現するためには、こうした動きを地域が連携・一体となって強力に推進していくことが必要。
- 「稲とアガベ(株)」を核に、酒づくりを目指す若者を広く本市に迎え入れる環境を整備することで、酒づくりのスタートアップを先駆的に受け入れる地域（男鹿・酒スタートアップシティ）として発展することを目指す姿と設定。

4. 勝ち筋

- 日本酒業界については、新規免許の取得が実質的に困難なことから、スタートアップ企業が育たない状況であり、日本酒の出荷量も激減の一途を辿っている。
- このため、日本酒づくりへの新規参入が可能な環境を整備し、本市に酒づくりのスタートアップ事業者を集積することにより、地域経済の活性化と雇用の創出、移住定住の拡大、関連産業の底上げを図る。
- 一連の取組は、酒づくり文化の継承、従来の枠を超えた新たなマーケットの開拓・拡大など、日本酒業界全体にも好影響を及ぼすと確信。

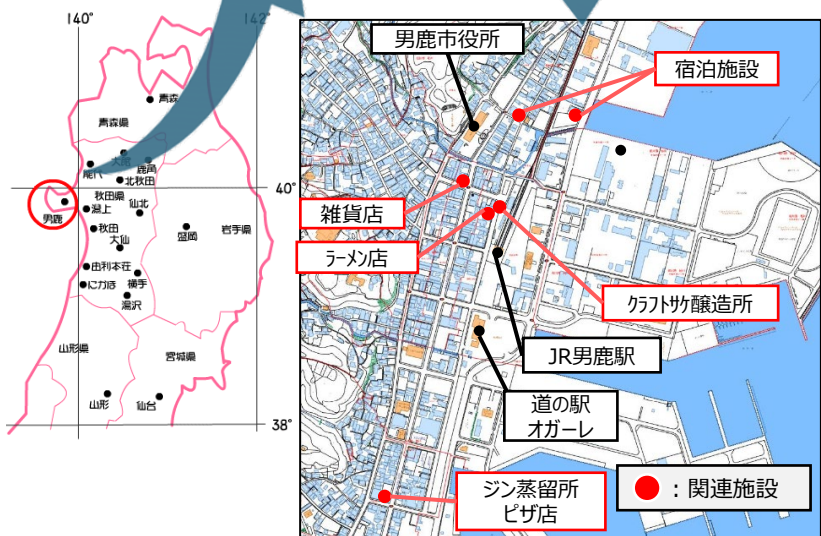
5. 政策手段

- 日本酒特区の実現
(R5年2月：国家戦略特区に提案済み)
- 酒づくりを目指す若者を男鹿に公募
- 醸造技術指導・企業経営指南
(酒づくり学校の開設等検討)
- 醸造所等の施設整備
(空き店舗や遊休施設を優先提供)
- 連携推進会議の設置・運営
(地域の関連産業が参画)
- 財政支援
(国の地域未来交付金の活用・市の単独施策で起業支援)

秋田県男鹿市 酒づくりを起点とした男鹿の地場産業成長プランの概要

核となる地域

秋田県男鹿市（船川地区）



核となる事業者

稲とアガベ株式会社

【関連会社】

株式会社男鹿まち企画

株式会社SANABURI



旧JR駅舎を活用した「稲とアガベ醸造所」



男鹿でのクラフトサケ醸造の様子



男鹿で醸造されたクラフトサケ



クラフトサケイベント「猩猩宴」で賑う男鹿駅前の様子



旧鉄工所をリノベーションしたジン蒸留所・ビザ店



市内遊休施設をリノベーションした宿泊施設

B.地域産業クラスター計画一覧

地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第6回）
8月発表分

オンライン出席

B計画リスト 13自治体 17件

自治体名	産業領域
山形県	半導体関連産業（生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業）
新潟県・新潟市	アニメーション制作業を中核とする映像・音声・文字情報制作業
富山県	医薬品産業、医薬品の製造に用いる部素材等のものづくり産業 アルミをはじめとする金属製品やプラスチック製品、また、それらの材料を用いた製品を製造する企業、アルミやプラスチックなどを用いた製品の高度な分解・選別や再資源化に取り組むリサイクル企業
大阪府	府内企業ネットワークを核とするロボット産業領域
大阪府・大阪市	空飛ぶクルマ関連産業（エコシステム形成）
大阪府・大阪市・堺市	水素・アンモニア及び次世代型太陽電池を中心としたCN産業領域（化学工業、石油製品製造業、金属製品製造業等15業種）
岡山県	自動車部品等を核とする自動車関連産業領域 半導体デバイス・製造装置等を核とする半導体関連産業領域
広島県	自動車・同部分品を核とする自動車関連産業領域
山口県	半導体素材及び半導体製造装置部品を核とする化学産業及び精密加工産業領域
香川県	次世代造船及びクレーン等を核とする鋼構造物産業領域
高知県	防災関連認定製品を核とする防災産業領域
佐賀県	コスメ関連産業を中心とするJ-Beauty及びウェルネス領域、農林水産業、観光業など
長崎県	造船・防衛産業、エネルギー分野を核とする海洋関連産業領域
大分県	船舶関連産業
鹿児島県	抹茶製品を核とする茶関連産業領域

山形県 半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

半導体関連産業

(生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業)

2. 対象エリア

半導体関連企業(山形県半導体関連産業研究会)
が立地する27市町村



機械要素技術展(福岡)
への県ブース出展



大学生向け半導体
関連企業見学会の様子

3. 目指す姿(目標)

(1) 現状

令和5年の電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額は全国4位、付加価値額は全国1位となっている。

一方で、少子高齢化や人口流出による労働力不足、専門人材の確保が急務であり、設備投資や技術革新が求められている。

(2) 目指すべき目標(2036年)

半導体関連産業の更なる集積拡大、高付加価値なサプライチェーンの中核拠点を目指す。

- ・官民設備投資額 500億円
- ・付加価値増加額 669億円
- ・産業人材育成数 2,000人

4. 勝ち筋

・トップシェア企業の県内進出及び立地企業の業容拡大の促進

・山形県半導体関連産業研究会を核とした企業間連携の更なる推進、オープンイノベーションの創出

・県内企業による半導体関連分野への新規参入や事業転換の促進による裾野の広いサプライチェーンの形成の推進

・産学官金連携により人材育成、研究開発、量産、販路開拓、現場改善などを一気通貫で支援

5. 政策手段

【企業誘致】

・企業立地促進補助金等による支援
【企業間連携、オープンイノベーションの創出、業容拡大に向けた支援】

・産学官金連携によるネットワーク強化
・セミナー・交流会の開催
・大規模展示会への出展支援

【人材確保・育成】

・山形大学等の高等教育機関と連携した啓発講義を開催
・大学生を対象とした工場見学会の実施
・実践的研修プログラムの構築

【研究開発・技術高度化支援】

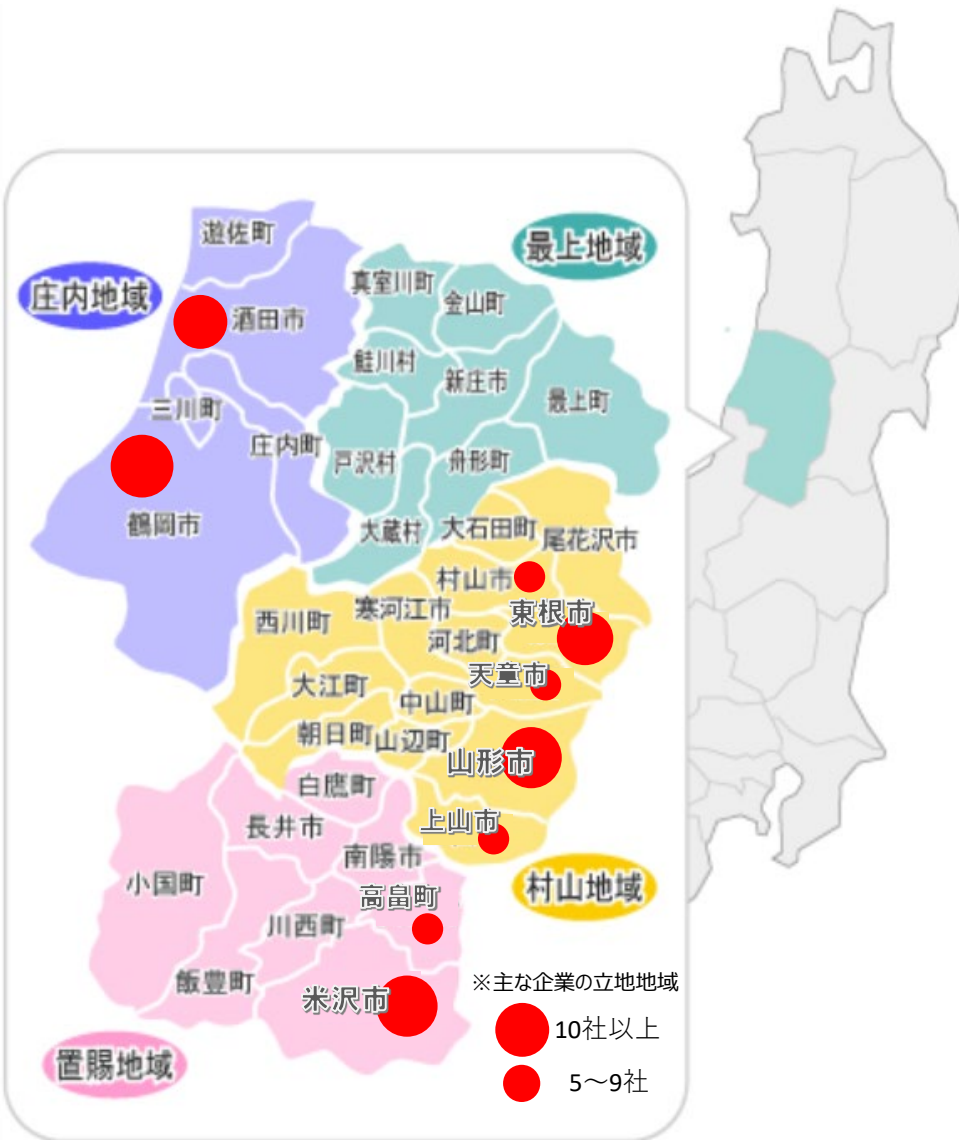
・大学及び試験研究機関との共同研究等
【環境整備】

・他県の集積地域との取引拡大等に向けた貨物鉄道等のインフラ整備推進

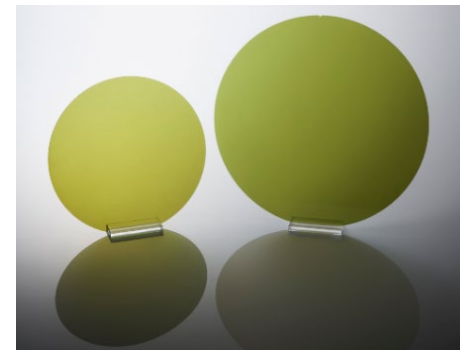
山形県 半導体分野における地域産業クラスター計画の概要

核となる事業者

山形県半導体関連産業研究会
山形螺子工業株式会社
大阪有機化学工業株式会社酒田工場
株式会社レゾナック・ハードディスク山形工場



半導体製造装置向け部品加工
(山形螺子工業(株))



SiCピウェハー
(株)レゾナック・ハードディスク山形工場



半導体用レジスト材料製造プラント
(大阪有機化学工業(株))

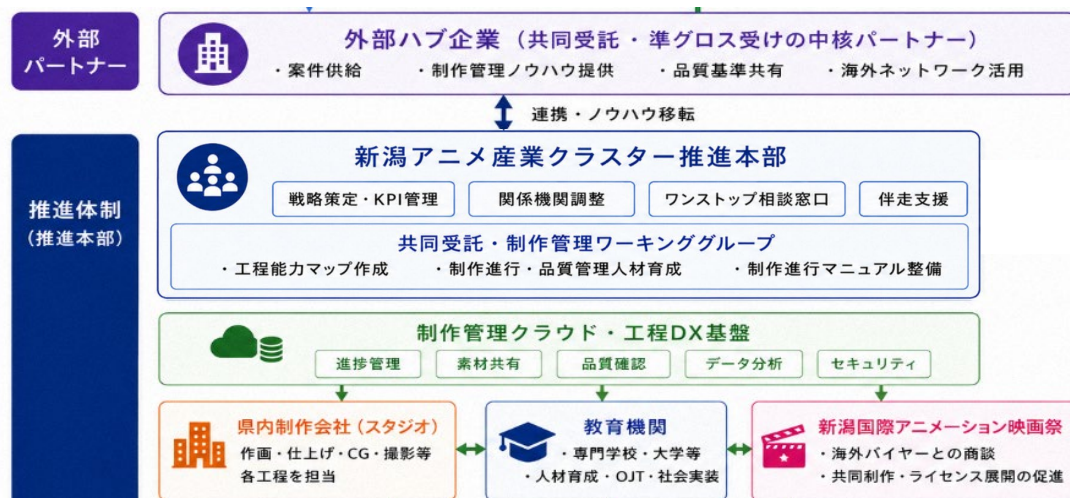
新潟県・新潟市 アニメーション制作業分野における地域産業クラスター計画

1. 産業領域

アニメーション制作業を中核とする
映像・音声・文字情報制作業

2. 対象エリア

新潟市中央区、 柏崎市、
十日町市



3. 目指す姿（目標）

県内企業・教育機関を基盤に、
外部ハブ企業と連携し「新潟アニメ
制作受託・人材供給クラスター」を
形成、将来的に新潟発コンテンツIP
を創出

【2031年（5年後）主な目標】

- ・設備投資額 12億円（2031までの累計）
- ・域内制作受託売上額 +80%
推定10億円（2026）→18億円（2031）
- ・付加価値創出額 +90%
推定4.5億円（2026）→8.5億円（2031）
- ・正社員アニメーター数 +75%
推定80人（2026）→140人（2031）
- ・産業人材育成数 70名（2031時点）

4. 勝ち筋

(1)基本戦略

- ・県内制作会社と外部ハブ企業の連携を強化し、県内で共同受託及び準グロス受けが可能な体制を整備
- ・教育から実務までを一貫したクリエイター人材の育成体制を構築

(2) 取組の具体像

- ・ハブ企業などの誘致促進と県内企業との連携強化
- ・工程DXや共同利用環境の整備による高付加価値化
- ・海外展開への接続強化

5. 政策手段

(1)企業誘致と共同受託体制の構築

- ・ハブ企業などの誘致促進
- ・品質基準整備、県内企業への技術移転
- ・制作管理クラウドの整備

(2) 県内制作会社の高付加価値化

- ・デジタル設備等による工程DXの促進
- ・設備等の共同利用環境の形成

(3) 人材育成

- ・「新潟アニメ人材育成・確保ゲートウェイプロジェクト」と連携し、教育から実務まで一貫した人材育成体制を構築（OJT、制作管理人材など）
- ・正社員化など勤務環境の改善

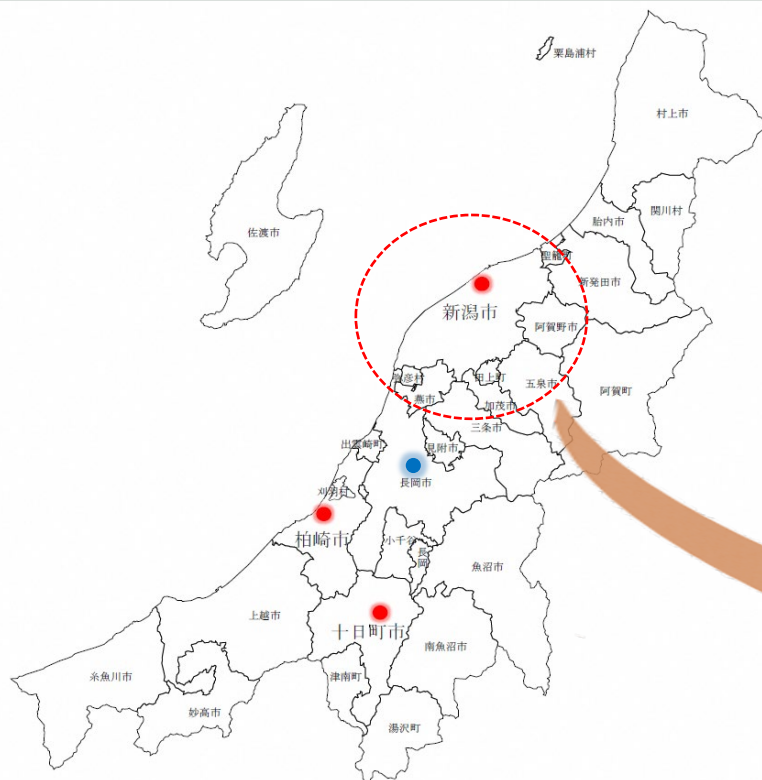
(4) 海外展開

- ・映画祭を活用した商談、共同制作促進

(5) 金融支援・伴走支援

- ・金融機関からの資金調達支援
- ・ワンストップ相談窓口の設置

新潟県・新潟市 アニメーション制作業分野における地域産業クラスター計画



核となる事業者

【地域制作会社】

(新潟市)
株式会社新潟アニメーション、株式会社ファンタジスタ
株式会社ZONE、スノーライトスタッフ、株式会社新風
株式会社プロダクション・アイジー (新潟スタジオ)

(柏崎市)

スタジオガッツ有限公司

(十日町市)

紺吉有限公司

【ハブ企業】

(新潟市)

株式会社ツインエンジン (株式会社くるせる)
株式会社エディア

クリエイター育成機関・周辺機関

(新潟市)

日本アニメ・マンガ専門学校、開志専門職大学、長岡造形大学
第四北越銀行



新潟アニメーション
【アニメ制作作業】



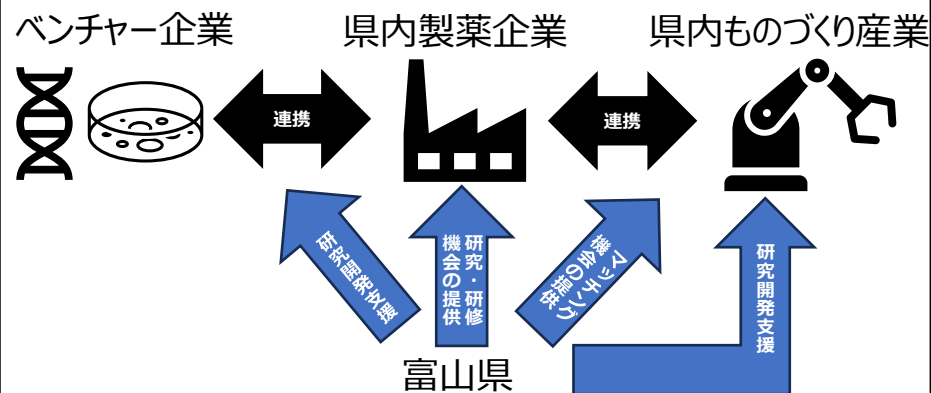
1. 産業領域

医薬品産業、医薬品の製造に用いる部素材等のものづくり産業
 <特定の理由>

医薬品産業とものづくり産業の産業集積と技術力を活かし、相互連携等により、新しい付加価値創造と地域経済の活性化が見込まれる。

2. 対象エリア

富山市、高岡市、滑川市、射水市等(特に県西部から県東部にかけての医薬品産業・ものづくり産業の集積地域を核とする)



3. 目指す姿（目標）

(1)現状

毎年の薬価改定や近年の物価高騰により、既存医薬品を主力とする医薬品産業では収益環境が厳しさを増しており、事業構造の転換が必須。

バイオ医薬品等の高付加価値医薬品の製造には高度な技術力に加え、部素材・消耗品等の供給が不可欠であり、国内サプライチェーン強靱化を要する。

県内企業へのヒアリングにおいて、多くのものづくり企業からは「バイオ・医薬品分野へ参入したい」、「事業拡大の需要がある」との声が多数寄せられている。

(2)目指すべき目標(2030年)

- 官民設備投資額 320億円
- 付加価値増加額 380億円
- 産業人材育成数 5,000人

4. 勝ち筋

県内医薬品産業の高度な技術力を基盤とした「医薬品製造エコシステム」の形成を通じて付加価値創出の高度化を図り、地域経済の活性化を目指す。

- ① バイオ医薬品等の成長分野への展開
- ② 製造プロセスの高度化・DX化
- ③ 産学官連携による創薬・製造エコシステムの構築
- ④ 医薬品供給拠点としての機能強化
- ⑤ バイオ・医薬品の製造に不可欠な部素材や消耗品等のサプライチェーンの強靱化
- ⑥ ものづくり企業のシーズと医薬品企業のニーズのマッチングによる新規参入支援
- ⑦ ものづくり企業とバイオ・医薬品企業とのコミュニケーション基盤の形成
- ⑧ 部素材を供給する場合の法規制、市場調査などの情報提供(合同セミナー開催)

5. 政策手段

(1)投資促進に向けた課題

- ・設備投資の負担大、競争力強化に必要な大型投資が進みにくい。
- ・医薬品製造人材、高度専門人材の不足
- ・医薬品産業特有の各種法規制への理解、特殊な仕様に対応した研究開発が必要。

(2)講じるべき政策パッケージ

- ① 研究開発支援
- ② 成長分野対応
- ③ ものづくり企業のバイオ・医薬品分野への参入支援
- ④ ものづくり企業の新商品・新技術開発支援
- ⑤ エネルギー供給体制の構築及び関連インフラの整備

富山県 バイオ・医薬品分野における地域産業クラスター計画の概要

富士フイルム富山化学(株)

(株)ロキテクノ

(株)トヨックス

陽進堂ホールディングス(株)

ダイト(株)

三晶MEC(株)

核となる事業者

富士フイルム富山化学株式会社
陽進堂ホールディングス株式会社
ダイト株式会社
株式会社トヨックス
株式会社ロキテクノ
三晶MEC株式会社

ほか 計380者

ダイト(株)【原薬、医療用医薬品（原薬～製剤までの一貫生産）】



(株)トヨックス、(株)ロキテクノ【部素材製造】



バイオ医薬品製造向けホース



医薬品滅菌フィルター

1. 産業領域

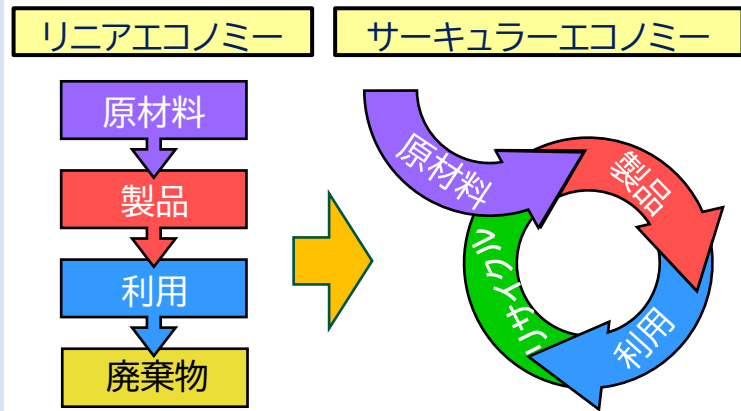
アルミをはじめとする金属製品やプラスチック製品、また、それらの材料を用いた製品を製造する企業、アルミやプラスチックなどを用いた製品の高度な分解・選別や再資源化に取り組むリサイクル企業

<特定の理由>

本県は、アルミをはじめとした金属製品やプラスチック製品の製造や高度なリサイクル技術を有する企業が多く立地しており、サーキュラーエコノミー(CE)の推進により、地域社会の持続的な発展が見込まれる。

2. 対象エリア

富山湾沿岸地域等(高岡市、射水市、富山市、小矢部市、滑川市、魚津市、黒部市)



3. 目指す姿(目標)

(1)現状

資源調達リスクや環境制約など、本県産業を取り巻く環境は大きく変化。

本県は、アルミやプラスチックなどにおいて、資源循環型産業への転換に適した基盤を十分に備えている。

本県の基幹産業であるアルミ分野において、アルミ製品を生産する「動脈産業」と、廃棄物を回収し、種別ごとに選別、高純度アルミの再生などを担う「静脈産業」との企業間連携を産学官で促進することにより、CEビジネスモデルを創出してきた。

(2)目指すべき目標(2030年)

- 官民設備投資額 600億円
- 付加価値増加額 92億円
- 産業人材育成数 4,800人

4. 勝ち筋

- 新産業の創出による国内外での産業競争力の強化
- 基幹産業である製造業における、労働生産性の向上
- 成長性の高い企業をはじめとした産業集積の推進
- 高い品質の再生素材の供給等による高度なマテリアルリサイクル等の推進

これらの取組みを通じ、本県のものづくり企業とリサイクル企業の産業集積と技術力を最大限に活かした「循環型エコシステム」の高度化を図る。

国内における安定的な資源循環へ貢献するとともに、高付加価値製品の技術力・製造機能の向上を図ることで、産業競争力を強化し、本県産業の持続的成長を目指す。

5. 政策手段

(1)投資促進に向けた課題

- CEの実現は、回収・再利用を前提とした製品設計が不可欠であり、企業単独では困難。
- 廃棄物の排出量削減には、資源循環に対する県民の理解促進が必要。
- 選別技術やリサイクル技術の高度化及び動脈静脈産業の連携強化が必要。
- 周辺幹線道路および空港・港湾等の拠点と連絡する道路の整備・機能強化が必要。

(2)講じるべき政策パッケージ

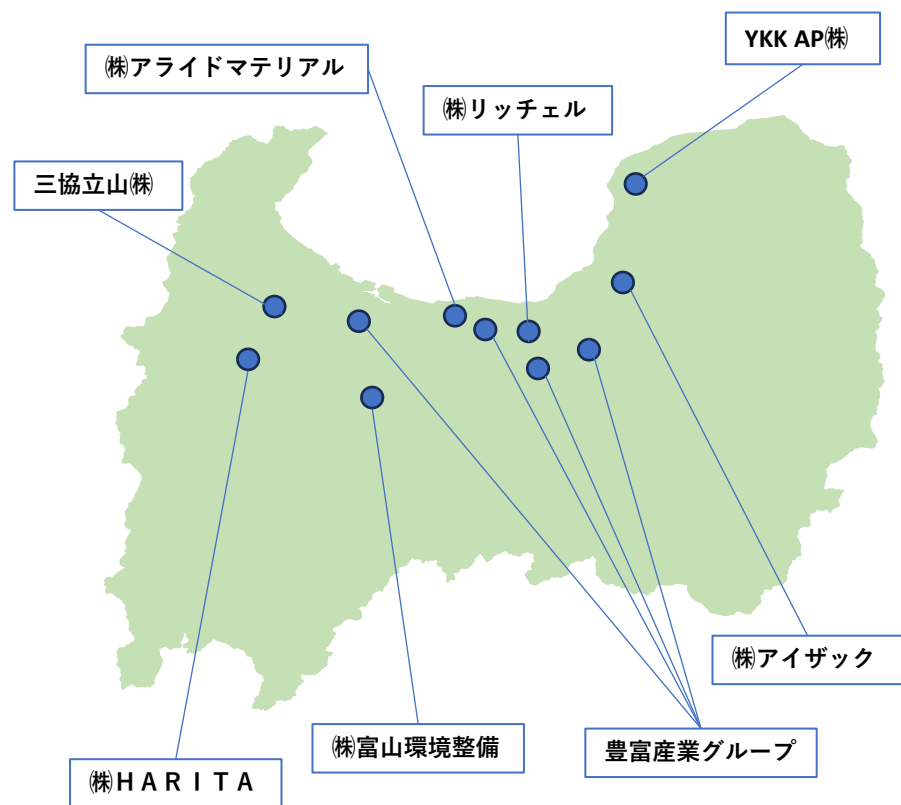
- ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業
- 産学官オープンイノベーション推進事業
- アルミ産業成長力強化推進事業
- リサイクル認定事業
- プラスチック資源循環促進事業
- プラスチック廃棄物回収等の促進

富山県 マテリアル(サーキュラーエコノミー)分野における地域産業クラスター計画の概要

核となる事業者

三協立山株式会社
YKK AP株式会社
株式会社リッチェル
株式会社アライドマテリアル
株式会社富山環境整備
株式会社アイザック
豊富産業グループ
株式会社HARITA

ほか 計739者



三協立山(株)【建屋外観・スクラップ専用溶解炉】



(株)富山環境整備【プラ再資源化施設】



(株)アイザック【有価金属回収施設】



大阪府 ロボット分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

府内企業ネットワークを核とするロボット産業領域

2. 対象エリア

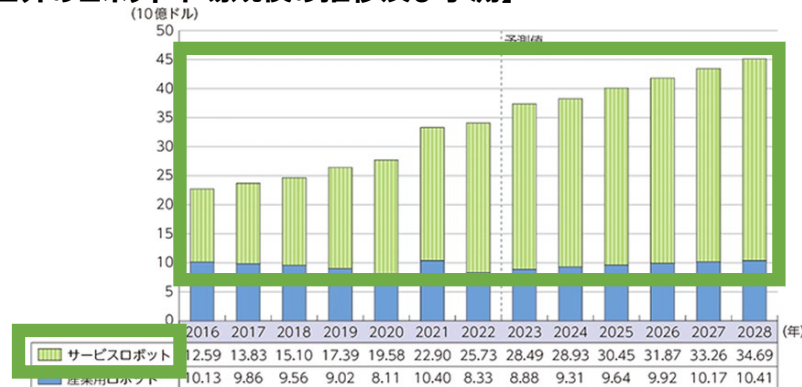
(1) 特にクラスター形成の核となる区域

全国でも数少ない、ロボット導入支援拠点であるIATC・IATC-Labが所在する大阪市等を中心とし、ロボット製造に必要となる「AI・プランニング」「認識技術」「センシング」「制御・駆動系」「材料・構造設計技術」「通信・クラウド」等の要素技術を有するものづくり企業等が集積する区域（大阪市地域、北大阪地域、東大阪地域、南河内地域、泉州地域）

(2) 計画推進の核となる企業

IATC・IATC-Labを運営する（一社）i-RooBO Network Forum等が参画する府内企業ネットワーク

【世界のロボット市場規模の推移及び予測】



【総務省 令和7年度版情報通信白書】

3. 目指す姿（目標）

(1) 現状の整理

- ・AIロボティクスの進展等を背景に、ロボット産業領域（特にサービスロボット分野）における世界市場は拡大傾向
- ・ロボット製造に必要となる要素技術を有する企業等が府内に集積

(2) 目指すべき目標

大阪府ロボット産業クラスターを形成し、ロボット産業領域における市場拡大を担うことで、大阪経済の成長に寄与する。

<KGI>

- ・付加価値増加額：ロボット製造業における付加価値額206億円（53億円（年3.0%増）（2036年））
- ・官民設備投資額：117億円（2036年）
- ・産業人材育成数：2.7万人（2040年）

4. 勝ち筋

(1) 基本戦略

市場性、参入余地、府の強みを踏まえ、ターゲットを絞った取組を通じてオープンな開発環境を整備し、既存事業者に加え多くの企業の参入を促すことで、産業クラスターを形成

<ターゲット>

- ①ロボットを構成する機能・部品を独立した要素として分割し、これを組合せ・組換えにより活用する技術力の向上及びサプライチェーンの構築
- ②軽量化などの今後サービスロボットに求められるスペックの新素材開発
- ③AIとハードを融合させることによるソフト面の強化

5. 政策手段

(1) 投資促進に向けた課題

- ・ロボット産業領域への参入手法や参入メリットが不明確
- ・需要拡大が見込まれる多品種少量生産への対応が必要
- ・専門人材の確保が困難

(2) 講じるべき政策パッケージ

- ・ロボット産業領域に対する関心度を向上させ、新規参入（技術転用）を促す
- ・ビジネス化に向けたサポートなど、伴走・販路開拓支援等、一気通貫での支援体制の構築
- ・多様なプレイヤーが参加するオープンな開発環境や実証フィールドを提供し、水平分業によるロボット製造を支援
- ・新工業高校に設置される産官学連携拠点等での交流を通じた、教育環境の整備・提供

大阪府 ロボット分野における地域産業クラスター計画の概要

iRooBOが運営・参画している
テクノロジー関連拠点

南大阪（泉大津）ベース

HCI ROBOT CENTER
スマートファクトリー

HCI ROBOT・AI LAB
スマートファクトリー

うめきた グラングリーン大阪

大阪大学みらい創発 hive

核となる事業者

- 一般社団法人i-RooBO Network Forum (iRooBO)
- 株式会社ロボリューション
- 株式会社ブリッジ・ソリューション
- ヴィストン株式会社

株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)

等が参画する府内企業ネットワーク

大阪南港メインベース
ATC (アジア大変用トレードセンター)
テクノロジー集積創出

IATC

スマートファクトリー

iRooBO Open
Technology Center

IATC-Lab.

スマートファクトリー

RoBO&Peace

子ども向けテクノロジー教育

ロボリューション

モビリティ関連

大阪産業局連携

ソフト産業プラザTEQS
テクノロジービジネス創出

5G X LAB OSAKA
5G X LAB OSAKA

インキュベーションオフィス
コワーキングスペース
事務局機能



iRooBO (IATC)



iRooBO (IATC-Lab)